いざというときの心得（周辺住民の皆様）

噴火警戒レベル１（噴火予報）のときには

●霧島山の噴火の歴史や噴火の特徴について知っておきましょう。
●家族で避難場所や避難路について、話し合っておきましょう。
●事前に、避難時に危険な箇所を把握しておきましょう。

●非常持ち出し品の準備をしておきましょう。

噴火警戒レベル ２～３（火口周辺警報）のときには

●テレビやラジオ、防災無線などを聞いて、正しい情報を得ましょう。
●デマには惑わされないようにしましょう。
●避難のための準備を進めましょう。
●空振や小さな噴石に注意しましょう。

噴火警戒レベル ４～５（噴火警報）のときには

●自治体からの避難勧告・避難指示（緊急）に従いましょう。
●電気・ガスの元栓を確認しましょう。
●お年寄りや病人など、手助けが必要な方々の避難を助けましょう。
●慌てずに落ち着いて行動しましょう。
●貴重品や常備薬等を忘れずに、戸締まりをして避難場所に向かいましょう。
●落ち着いたら親戚や知人へ避難した場所などを伝えましょう。

わが家の防災メモ

いざという時の家族や親戚の避難先や居場所などについて家族で話し合い、メモをしておきましょう。

避難場所

避難所

緊急連絡先　氏名

電話番号

避難が必要となる火口
および想定される火山現象

災害用伝言ダイヤルの使い方

171

伝言を録音するとき → 1 → 被災地の方の電話番号 → 伝言を吹き込む

伝言を再生するとき → 2 → 被災地の方の電話番号 → 伝言を聞く

※電話番号は市外局番から

家族の連絡先

名前	生年月日	血液型	携帯電話番号	日中の居場所（勤務先や学校）	左記の電話番号